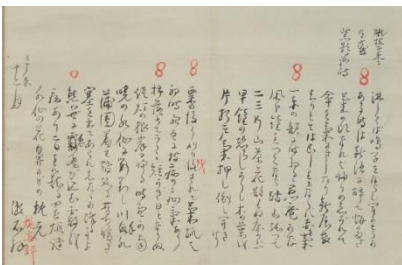


来熊120年 漱石と熊本

——秋はふみ吾に天下の志——

平成28年10月6日(木)～平成28年11月14日(月)



明治29年(1896年)、今から120年前の熊本に、夏目漱石はやってきます。それは、まだ小説を書く前の、若き日の漱石です。

生涯のほとんどを東京で過ごした漱石にとって、熊本は、東京に次いで長く過ごした土地なのです。漱石が暮らした4年3カ月のあいだには、のちに作家として世に知られる「夏目漱石」の姿ばかりでなく、俳人としての、五高教師としての、また、結婚し第一子の誕生を迎えた家庭人としての「夏目金之助」の姿があります。

今回の展示は、漱石の熊本時代を中心に、書簡や短冊などの資料から、漱石その人と明治時代の熊本の記憶を見出そうとするものです。来熊120年のこの年に、漱石と熊本とのつながりに触れる機会となれば幸いです。

写真(上)夏目漱石『漱石写真帖』より (下)夏目漱石句稿(当館所蔵)

【お問合せ】熊本県立図書館 学芸調査課 (熊本市中央区出水 2-5-1)

(開館時間：9:30-17:15/火曜休館) TEL096-384-5000

◆関連イベント ※講演会・ワークショップは 事前申込み先着順です。

(1)記念講演会

- ① 坪内稔典氏(京都教育大学名誉教授)「漱石くまもの句」

10月15日(土)13:30～15:00 / くまもと文学・歴史館 展示室3

- ② 関川夏央氏(作家・評論家)「漱石作品の最初の読者は子規」

10月30日(日)13:30～15:00 / 水前寺共済会館グレースシア(熊本市中央区水前寺1丁目33-18)

(2)創作キットで簡単！俳句ワークショップ

10月9日(日)13:30～15:00 / くまもと文学・歴史館 展示室3

(3)ギャラリートーク

10月23日(日)・11月6日(日) いずれも13:30～

くまもと文学・歴史館ロビー集合

